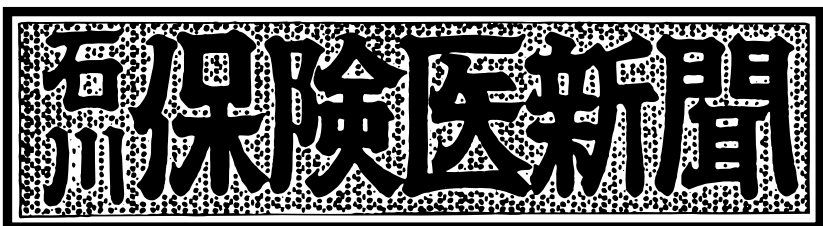


主な記事

- 2面 新年号コンクールで「奨励賞」
- 3面 保険審査通信
- 4面 各部部长の抱負
- 5面 新理事紹介
- 6面・7面 定期総会記念講演
- 8面 おサル先生の在宅医療入門
- 9面 冬の食歩き会(太郎)

今月の会員数/921人(医科665人・歯科256人)



発行所
石川県保険医協会
〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F
電話 (076) 222-5373番
FAX (076) 231-5156番
発行人 高松 弘明
印刷所 ソノダ印刷株式会社
購読料 1年間5,000円(〒共)
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

第26回定期総会



2000年度に向けて熱い討論が交わされた (2月26日・金沢都ホテル)

山積する課題を協会の総力で

新たな決意で市民と共に

二〇〇〇年度がスタート

二月二十六日(土)、金沢都ホテルで第二十六回定期総会を開催しました。午後四時からは金沢大学経済学部の横山寿一教授を講師に招き、「介護保険の最新情勢と医療・福祉関係者への期待」をテーマに記念講演を開催。会員医療機関をはじめ福祉関係者を含めて百人が参加し、横山教授から最新の話題と医療・

二月二十六日(土)、金沢都ホテルで第二十六回定期総会を開催しました。午後四時からは金沢大学経済学部の横山寿一教授を講師に招き、「介護保険の最新情勢と医療・福祉関係者への期待」をテーマに記念講演を開催。会員医療機関をはじめ福祉関係者を含めて百人が参加し、横山教授から最新の話題と医療・



総会議長を務めた半田詮会員

新年度を迎えて

開業医の経営基盤と社会保障制度の確立に全力を

会長 高松 弘明



協会創立以来25年間、役員、事務局は、協会の資産、金銭の保全管理には、最大細心の注意を払って取り組んできました。蟻の一穴は、金銭問題にあることを肝に銘じていたからです。しかし、2月2日夜半から3日早朝にかけての貯金通帳盗難事件は、例えプロ窃盗団による、しかも銀行の不手際があったとはいえ、われわれの危機管理体制を厳しく問い直す事件になりました。結果的に、協会活動と会員への直接の被害は避けることができましたが、会員の皆様には、心からおわび申し上げます。同じ過ちを犯さないために、情報部門を含めたセキュリティシステムを早急に確立します。

21世紀を目前に控え、わが国はあらゆる分野で変革を求められており、医療・福祉も例外ではありません。

介護保険、社会保障制度の後退、医療・福祉費抑制策などの複雑かつ難しい環境のなかで、保険医協会については今年ほどその力量を問われている時期はありません。協会設立の原点にたつて、以下の重点方針を確認します。

●開業保険医の経営基盤の確立

…… 経営の基盤は診療報酬による収入であることは、いうまでもなく、今後はさらに、介護保険などの福祉領域が加わります。不当なレセプトの減点・査定にはしっかり対応し、医学的レベルを上げるためにも、さまざまな分野における医師の裁量権を守るべく、全力をつくします。

●社会保障制度の確立

…… 保険医の存在自体、社会保障制度の確立なくして考えられない時代にはいつてきました。医療関係者以外の一般市民との連携を最重要課題と考えます。

●医科・歯科共同体のメリットを生かす

…… 歯科部の精力的活動で、医科との共同活動が、学術面をとおして活発に行われつつあります。今年度はさらに発展させます。

以上、活動基本方針を記しました。会員諸氏の熱心なご批判ご提言をお願いします。



総会アピールを提案する勝木育夫副会長



勤続20年表彰を受ける大川せつ子事務局員



勤続10年表彰を受ける西田直巳理事

医心凡語

昨年九月三十日に茨城県東海村で起こったJCOでの臨界事故で、同社社員の大内久さんが、従来考えられていた中性子の致死量をはるかに超える十六・二十シーベルトを被曝し、八十

三日の闘病生活の末亡くなったのは、記憶に新しい事件である。広島での原爆爆心地をも超える放射能障害だった。だれもが見たことのない悲惨な病状が報告されて、改めて放射能障害の残酷さを知ったのであった。主治医であった東大医学部の前川和彦教授(救急医学)の話から一部拾ってみることにする(朝日新聞、二〇〇〇年二月九日)。

「人命軽視も甚だしい。原子力の防災にかかわって腹立たしく感じたことは、たとえば、今回の事故調査報告書で医療についてのことは全体の三・四パーセントしか述べられていないことです。危機管理とは、救命でしょう。命を救う医療のことをもっと考えないといけないのに、そういう視点がまったくくない。」

悪戦苦闘した医師だからこそ、この言葉の意味は大きい。現在わが国で起こっている多くの人災、自然災害や事件に、そっくり当てはめても良いのではないかと。

政・官・業に、いや一般市民にも、今この危機管理意識が十分あるだろうか。この際、医療従事者として、命の重さを、冷静に頭が碎けるくらいかみしめたい。

本紙、新年号コンクールで 全国5位、「奨励賞」を獲得

事務局 杉野 洋一郎

日本機関紙協会が主催する新年号機関紙・誌コンクールに今年も応募し、今年表彰式に杉野が出席しました。初めて「奨励賞」を受賞しました。



本紙新年号を評価する審査委員

二月十九日(土)、東京芸術劇場で開かれた発表・表彰式に杉野が出席しました。全国紙のAコースから家

族新聞のFコースまでの六コース合計三百八十二紙のうち、「石川保険医新聞」は都道府県単位で発行する機関紙Bコースにエントリーしました。このBコースには全国の優秀作品九十五紙が応募し、「最優秀賞」一点、「優秀賞」二点に続く「奨励賞」一点で、本紙は全国五位に位置付いたことになりました。

「石川保険医新聞」新年号コンクール受賞一覧(1982年から応募)

年	ページ数	表紙写真	受賞名
1982年	10面	●黎明	努力賞
1983年	12面	●黎明	努力賞
1984年	8面	●琴路灯笼	努力賞
1985年	8面	●蝶	佳作
1986年	10面	●山家	佳作
1987年	10面	●出初め式	佳作
1988年	10面	●加賀友禅	佳作
1989年	10面	●母子	写真賞
1990年	14面	●天神堂(おてじんさん)	佳作
1991年	14面	●入浴サービス	審査委員特別賞
1992年	14面	●ほほえみの石川国体	佳作
1993年	14面	●看護婦	佳作
1994年	14面	●旗源平	佳作
1995年	14面	●津幡町中条南保育園	写真賞
1996年	14面	●たいぼう式	写真賞
1997年	18面	●訪問歯科診療	企画賞
1998年	20面	●学童保育・あしの子クラブ	審査委員特別賞
1999年	20面	●障害者施設・夢工房	取材記事賞
2000年	20面	●在宅医療・紺谷清正さん	奨励賞

第二十六回定期総会、四月からの診療報酬改定、介護保険導入と協議事項が山積し、プリントにして四十枚に上る資料を前に第十七回理事会が始まった。

まず、総務部より二月一日現在の会員総数が昨年の同時期と比較し、医科十八人、歯科四人、計二十二人増加し九百二十二人になったとの報告があった。来年度の目標は三十人増の九百五十人である。開設以来、ほぼ直線的に年間三十人前後の会員数の増加があり、十分クリアできる数字と思われる。

第17回理事会点描 950人会員を 来年度目標に

(2月1日・11人出席)

財政部からは一九九九年度の決算報告があり、ほぼ予定通りの収支となつたが、学術・保険部の

前よりコンピュータ関係の仕事に携わっており、大いに期待したい。

歯科部からは昨年九月に発行した「歯科に必要な

(柴山 記)

今回の理事会は、石川県保険医協会始まって以来の重大な報告とその対応について検討がなされた。

二月二日の夜から三日未明にかけて、保険医協会事務所に窃盗グループが侵入し、耐火金庫をパイル状のもので強引にこじ開けて預金通帳を盗み出し、三日朝、大阪と金沢の各支店から預金が引き出された事件である。

第18回理事会点描 セキュリティの 早急な確立を

(2月15日・12人出席)

銀行印が盗まれなかったため、犯行現場を保存して警察に通報した。

銀行への預金引き出し停止は警察を通じて行われたが、この僅かな時間帯に偽造印鑑を用いて銀行の開店直後に預金引き出

盗難事件が発生した。緊急理事会を開き、この事件の対応が検討された。現在、引き出された

五年間、会員から預かる共済制度保険料や会費などの財産管理について、最大細心の注意を払ってきたが、この度の予

た預金に対してはほぼ補償されつつあり、実際の被害も少なくなる模様。しかしながら、石川県保険医協会の設立以来二十

(近藤 記)

第5弾

石川県保険医協会 歯科部会 Saturday Night Seminar

第6弾

真の金融ビッグバンは、 株式投資に対する意識改革から

- ◆講師 水谷 秀夫 氏(東京証券 投資情報部長)
- ◆開催日時 3月16日(木)午後7時~午後9時
※土曜日ではありません、ご注意ください。
- ◆開催場所 石川県保険医協会 会議室
- ◆参加対象 会員、会員家族、スタッフ
- ◆参加費 無 料

成果に応じた、 これからの賃金システムの考え方

—成果に対する公正な評価が従業員のやる気を引き出す—

- ◆講師 八木 良樹 氏
(株式会社ヤギコーポレーション 総務チームリーダー)
- ◆開催日時 3月25日(土)午後7時~午後9時
- ◆開催場所 金沢都ホテル 5階
- ◆参加対象 会員のみ
- ◆参加費 無 料

お問い合わせ・お申し込みは協会まで TEL076(222)5373/FAX076(231)5156

『保険審査通信』に寄せられた相談事例

保険審査通信 第131～133例

今回の3件は、薬剤（注射、内服、外用）の査定についてです。

—— 第131例 ——

左右変形性膝関節症にアルツディスポ注を6回投与したところ5回に減額査定されたものです。

アルツ（ヒアルロン酸ナトリウム）の適応・用法をみると、「変形性膝関節症または肩関節周囲炎では1週間に1回、連続5回関節内注射する、症状により回数を増減」となっています。この考え方は、1関節につき、1週間に1回の関節内注射を連続5週間するというものです。回数が増減は、症状により6週目があってもよいが、1週間に2回することはできないということです。従って、1関節の病変では、月5回の算定が限度ということになります。

第131例では平成9年6月20日開始の左変形性膝関節症と平成9年7月2日開始の右変形性膝関節症の2関節病変ですので、1関節に6回の関節内注射であれば5回に査定されますが、2関節にそれぞれ5回以下の回数（たとえば両側ともに3回など）ならば適切な算定ということになります。

次に、本件の診療実日数をみると、4日になっていますので、後者であることは明らかであります。従って、1関節につき月5回を越えていないことを記載して再審査請求すべき事例です。

—— 第132例 ——

パナルジンの査定についてです。

パナルジン（塩酸チクロピジン）の適応症は、能書には「①血管手術及び血液体外循環に伴う血栓・塞栓の治療並びに血流障害の改善 ②慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛及び冷感などの阻血性諸症状の改善 ③虚血性脳血管障害[一過性脳虚血発作（TIA）、脳梗塞]に伴う血栓・塞栓の治療 ④クモ膜下出血術後の脳血管れん縮に伴う血流障害の改善」の4つが挙がっていますが、石川県では、この他に「血栓が強く懸念される疾患、状態時、例えば不安定狭心症、心房細動、心弁膜症などでは認める。但し長期投与は不可。」となっています（石川県医師会平成10年10月：社保・国保審査委員合同協議会結果・・・3ページの2）。

本件では、能書にある適応病名、ローカルルールともにレセプト病名としての記載がなく、特別の注記もないので、適応外として査定されたものです。病名①冠硬化症、病名②右脳梗塞後遺症など、認められそうな病名

がありますが、（保険者からの）再審査請求の段階では、①では、不安定狭心症があるわけではなく、②では・・・後遺症となっているのでこれだけでは病名としては不十分で、本件患者がパナルジン投与を必要とする状態であったなら、その旨注記するなどの必要があったと思われます。問題となりやすい薬剤における能書の熟読、ローカルルールの熟知が求められる事例です。

なお、レセプトに記載された16病名の中で、パナルジンを投与すべき状態があったのであれば、その旨記載して再審査請求することはできますが、復活の可能性は高くはないと思われます。

—— 第133例 ——

急性気管支炎にホクナリテープを使用したところ査定された事例です。ホクナリテープの適応症には急性気管支炎があります。しかし、本件では、実日数が1日であり、投与枚数が8枚となっています。1回の処方では、8枚投与したということです。ホクナリテープの投与方法は、1日1回ですので、8日分の投与ということになり、外用薬の投与日数の限界である7日分 {療養担当規則20条二・ホ・(1)} を超えることになってしまい、査定されたものと思われます。なお、査定の仕方については、7枚に減額査定という方法もあり、あまりに乱暴な査定といえないことはありませんが、再審査請求しても復活は難しいと思われます。療養担当規則の熟読が必要であった事例です。

さて、今回の3件の事例は、金沢市内の病院からの「保険審査通信」です。勤務医の中には、療養担当規則や石川県における保険算定のローカルルールなど保険診療について熟知していない方が多いのではないのでしょうか。新しく赴任された医師に対して、保険診療に関する知識をいま一度復習してもらうのも管理医師の重要な役目です。それにより、無用の査定が減り、病院の経営状態に貢献するものと思います。

納得いかない返戻、査定がありましたら、ぜひ『保険審査通信』にてお知らせ下さい。

『保険審査通信』はFAXのほか、E-mailでも大歓迎です。
F A X : 076(231)5156
E-mail : ishikawa-hok@doc-net.or.jp

石川県保険医協会

医科新点数検討会のお知らせ

【金沢会場】

開催日時：3月25日(土)午後6時半～午後9時
開催場所：金沢市観光会館大ホール
金沢市下本多町6番丁27番地
電話:076-220-2501

【七尾会場】

開催日時：3月26日(日)午前10時～午後0時半
開催場所：七尾サンライフプラザ 2階 視聴覚室
七尾市本府中町ヲ38
電話:0767-53-3260

■2000年4月診療報酬改定に完全に対応
入院医療の包括払いの拡大、薬剤関連技術料の評価等
■医療機関に関わりのある介護報酬についても解説
訪問看護、居宅療養管理指導、療養型医療施設の請求方法

講 師：石川県保険医協会講師団
テキスト：『2000年4月点数表改定のポイント』
参 加 費：会員医療機関1人無料、2人目から2,000円
未入会医療機関の方は、当日までに入会していただくことを前提とします。
参加対象：会員、スタッフ、家族
申 込 み：次のいずれかの方法で必ず事前にお申込みください。
申込締切：3月17日(金)
※申込みされた方に「入場整理券」をお送りします。当日ご持参ください。

2000年4月からの医科新点数運用説明会

日 時	会 場
4月29日(土・祝)午前10時	金沢:地場産業振興センター
4月29日(土・祝)午後2時半	七尾:七尾サンライフプラザ

●お申し込み・お問い合わせは
石川県保険医協会まで TEL (076) 222-5373 FAX (076) 231-5156 E-mail:ishikawa-hok@doc-net.or.jp



総務部 安藤 良一

人権と平和を守るために

昨年を引き継いで今年度も不肖ながら部長を務めさせていただきます。

総会議案書にも書かれていますように、国は今、長引く不況の中で経済再建に必死です。それは医療面でも財政削減の至上命題で、患者負担金の増額や医療機関の整理を狙った法改正に現れます。

このような困難な状況においても石川県保険医協会は、医療制度の改善と社会保障の充実を理念に掲げ、国民の人権と平和を守る運動の推進にできる限り努力しなければなりません。

執行部としても、全会員の医療活動を支援し、経営と生活に少しでもお役に立つ企画とその実行をめざします。そのため役員並びに事務局員の体制強化も必要でしょう。

会員増加が協会の財政基盤を支え活動を発展させる唯一無二の条件ですが、幸い、会員数は順調に伸びており、今年は950人を目標とします。

会員諸氏には、今年も暖かいご支援をよろしくお願いいたします。



学術・保険部 近藤 邦夫

診療報酬、介護保険への取り組み強化を

昨年は十分な活動がされなかったが、今年は診療報酬改定や介護報酬が決定される大切な年と考えられる。そのため、これらに関する迅速な情報提供と懇切丁寧な解説、相談活動を行う。介護保険については、多くの問題を抱えてのスタートであり、今後様々な問題が出てくるのが予想される。医療福祉部と連携してこれらの問題点について検討していきたい。

また、医科歯科の医療連携をはじめ、診診連携、病診連携の取り組みを強化する。そのほか、医療情報提供に関する実践の交流や学習会を開く。EBM講演会のシリーズ開催を計画している。



医療福祉部 喜多 徹

いよいよ『福祉マップ』の改訂に

2000年4月1日より、いよいよ介護保険が施行されます。介護保険は、確かにわが国の社会保障制度上画期的な制度ではありますが、問題点・矛盾点も大変多く、協会としては、同保険についての正確かつ最新の情報を会員の皆様に提供する一方、介護保険制度の改善運動にも全力を挙げて取り組みます。

また、介護保険および福祉制度についての最新情報を載せた『福祉マップ』改訂第5版を、毎年発行している『病院マップ』と併せて今年度発行を予定しています。もちろん乳幼児医療費助成制度の拡充を求める運動を引き続き推し進めるほか、新たに子どものこころの問題へのアプローチ、および障害者福祉施設への援助、障害者問題について会員に理解を深めて頂けるような企画も前年に引き続き取り組んでいきたいと思ひます。



機関紙・文化部 大平 政樹

夢と希望を作る機関紙・文化部に

今年度の抱負として、新聞部は何を書いてよいかよく分からない。なにせ、数年前の夢であった「原稿がどんどん集まって困ってしまう」「新年号のコンクールで優秀賞をとる」といったことが、もう半分以上実現してしまった。うれしい誤算である。月並みではあるが、これも一重に事務局、部員、理事の方々の地道な努力によるところが大きい。協会自体が会員、市民を巻き込んで成長してきた結果、協会のファンメンタルは非常に裾野の広いものになっている。若い先生や新しい力がどんどん台頭してきているのだ。今年もこの力をどんどん伸ばして、夢と希望を作る部として、一層努力していきたい。

各部部长 新年度の抱負を語る



財政部 西田 直巳

会員サービスのための財政強化を

保険医協会の事務局員の退職金規程は、県職員のそれに準ずるというのがこれまでの考え方でした。しかし、支払う退職金の準備ができておらず、最初の定年退職の時に八年後に近づいた今日、ようやくその準備にかかるという状態です。そこで、保険医協会独自の退職金規程を作成し、それに合わせて、積立金の準備をしていくことが今年度の一番の課題です。もちろん、ようやく財政的に潤滑に動き出した、通年度の事業の遂行もきちんとやっていけるよう十分過ぎるほどの配慮をします。

これで2000年度は何とかいけると思っていた矢先、新年度開始の3日目に事務所盗難事件が発生しました。いろいろ折衝した結果、被害は今年度の事業や年金に影響が及ばないところまでこぎ着けていますが、それでもなにかがしかの特別損失計上は必至であり、短期間に損失の吸収ができるような財政運用を強いられる羽目になりました。そういうわけで、会員サービスを質・量ともに落とさずに損失の吸収を完成させることが今年度の最大課題となってしまいました。これに向かつて誠心誠意がんばっていく覚悟で2000年度に突入したところです。会員の皆さま、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



経営・共済部 井沢 宏夫

新鮮味ある活動を工夫します

昨年度は、協会の扱う共済制度が、いずれも当初の普及目標を下回り、低金利政策による影響や会員の経営的余裕が思わしくないことを反映したものと思われた。

今年度は、休業保障の給付日数の延長や保険医年金の利率の上昇などにより、より好条件で加入できるようになると予想される。

今年は、昨年に引き続き「新規開業医の懇談会」や「中堅開業医のための経営セミナー」を企画するが、新鮮味を加え工夫をして開催してみたい。



歯科部 平田 米里

歯科部は2000年度も爆発だ！

ペリオドンタル メディシンのシリーズ検討会と冊子化。いくつかの歯科医師や衛生士向け講演会など、学術講演会だけでも多すぎるのに Saturday Night Seminar を4から5回予定。歯科部のホームページ立ち上げ。訪問歯科診療の充実。その他。

以前からの持論である歯科会員の「多様化するニーズ」に応えるための活動を展開する覚悟ですが、いかにせん部員の数が不足。「やりたいことが自由にできる歯科部」で活動してみませんか。最後は、部員を求む！... か？

7つがうたが(答え)
(問題は8画)

①左奥の並木
②左の丸いビル
③橋げた
④ポスト
⑤アイスクリームの
⑥左下の犬のしっぽ
⑦根

白3の切り込みが好手でコウになります。

問題は8画



歯科部担当

ることなく、気が付けば理事に押されてしまいまし... 未知なる世界へ挑戦して、より積極的に参加して、

他業種の方々との

連携を大切に

小島 登 (内灘町・歯科)

この度、新しく理事の末席に加えさせていた...

多方面の方々と話し合... 連携を志し、教わる心を

新理事紹介

(第二十八回定期総会で選任)

昨年の夏に機関紙・文化部に入り、毎月、『石川保険医新聞』の編集会...

われわれ開業医が日ごろ思... 積極的に企画され、改善し

協会紙の伝統を守り

牛村 繁 (金沢市・眼科)

宅医療入門」は、筆者の小川先生ご自身が編集会...

このような努力の甲斐... 今年の新年号

機関紙・文化部担当



より広げられています。わ

歯科部からの緊急案内

またまた金パラ高騰

1998年12月に8,000円、1999年10月に12,000円だった12%金パラ30gが、今年に入り急騰し16,000円を越え、20,000円に迫る勢いです。

原因はパラジウムの高騰によるものと考えられます。東京工業品取引所パラジウム相場は1月27日が1,542円/g、2月23日2,363円/gと、1カ月で1.5倍に跳ね上がり、買い手が現れないため取引が成り立たず、大量に売りを抱えて急激に業績が悪化する取引会社が増えているようです。

ちなみに12%金パラ30gが20,000円とすると、5gの鑄造冠は金属代3,333円+技工料2,650円合わせて5,983円になります。

休業保障の加入受付を開始

2000年度募集期間：5月31日まで
お問い合わせ・お申し込みは協会事務局まで

『メデイカル・アサヒ』3月号に北山吉明先生が紹介されました。

(ドクターズ・ファミリーコンサートの写真とともに)



北山 吉明 (北山クリニック院長)



平成11年秋、石川保険医協会のファミリーコンサートで先妻のお嬢様と二重唱(メリウイドウワツ)を熱唱。

マイ・ホビー

ぼくが歌うわけ

もともと歌が好きで学生時代にフォークやジャズに没頭していた。当時、仲間での評判もそこそこ良かった。だから42歳の開業を機にオペラの門を叩いた時も、長いブランクの後にもかかわらず、たかやうと悔しがった。しかし、オペラの奥の深さに触れたとたん強気な鼻柱は見事に折れ、はるかな道のりに一瞬の遠くなる思いがした。明らかな選択ミスとわかったが、負けず嫌いの性格がいつのまにかこの身を猛練習に駆り立てていた。実はこれとは別にオペラを諦めなかった理由がもう一つあった。一耳惚れと言ふべきか、僕の心を捉えて離さないアリアがあった。これが歌えたら死んでもいいと思ったその曲は、ブッチェーニのアリア「誰も寝てはならぬ(Nessun dorma)」であった。「これを歌うまでは絶対にやめない」と堅く心に誓ってきたのである。ところが、大問題があった。テノールの僕が出せる最高音はファである。憧れのアリアはシの音が出ないと歌えないのである。声楽教師の計算によれば、シの音が出るには最低5年の練習が必要という。「但し、この数字は若い学生の場合で...」と付け加えられた。僕は歳だから5年が10年になることもあるし、悪くすれば歳と共に高音が出なくなるかも、という意味だ。何だか沈みゆく夕日を追いかけけるメロスの気分になってきた。嗚呼、あのアリアは見果てぬ夢に終わるのだろうか。そんなある日、まさに突然であった。自分の専門分野のスポーツ医学が発声

読みづらい方にはFAXでお送りします。(TEL 076-222-5373)

第26回定期総会記念講演

介護保険の最新情勢と医療・福祉関係者への期待

本稿は講師の横山寿一先生にまとめていただきました。

介護保険実施まであと一カ月となった。この一カ月は、国のレベルで制度の詳細が最終的に確定される時期であると同時に、各自治体でもこれまで議論されてきたことが介護保険条例、介護保険事業計画・老人保健福祉計画、来年度予算などに

一、介護保険実施直前の時点における中間的総括

最初に、介護保険をめぐってこれまでに展開されてきた内容について、私なりの中間的な総括をしておきたい。

介護保険の限界・矛盾の露呈と修正

第一に指摘すべき点は、内容が具体的になるにつれて介護保険の限界・矛盾があらわになり、それに対して様々な修正・変更が余儀なくされてきたということである。とくに重要なのは、介護保険の限界ゆえに、各地の取り組みが自立の人への施策を含めた地域包括的な介護保障システムの整備へと向かっていかざるをえなくなってきたこと、保険料・利用料の負担問題を通じて高齢者の厳しい生活実態が明確になり、「高齢者富裕論」の根拠が崩れたこと、市場拡大のための介護ニーズの掘り起こしが公費

に議論する。自治体自身も制度の限界や改善の必要を率直に口にしている。そうしたなかで行政と住民との共同の関わり、協力して国へ働きかける自治的な対応が

また、先ほど指摘したように介護、医療、保健・予防などを全体として視野に入れた包括的な地域保健福祉システムへの志向が現れ、さらには、地方財政も地域経済も深刻な状態に置かれていながら、安心して住み続けられる地域に変わる。そのために介護や福祉の基盤を整える。そうすることによって地域経済や地方財政も再生を図るとい

負担抑制と衝突を始めたこと、営利事業者の参入で危惧されたとおり市場化・営利化の問題が現実化してきていることである。

地域・自治体の改革への胎動

第二は、介護保険の取り組みを通じて、地域と行政の改革へむけた様々な胎動が始まったということである。シンポジウムなどに自治関係者が出席して一緒

に議論する。自治体自身も制度の限界や改善の必要を率直に口にしている。そうしたなかで行政と住民との共同の関わり、協力して国へ働きかける自治的な対応が

民主主義後退の新たな動き

第三は、こうした積極的、前進的な側面と同時に、地域や自治体で民主主義が後退させられるような新たな危険も出てきているということである。

公募方式をとりながら実質的な審議を認めず、住民合意の計画だとして「住民参加」を隠れみのに使う官

これらの点以外にも、手作りのいいサービスをということで非営利事業体によるサービス提供が本格化してきたこと、オンブズマン制度の検討など住民参加と行政監視が具体化に動きだした

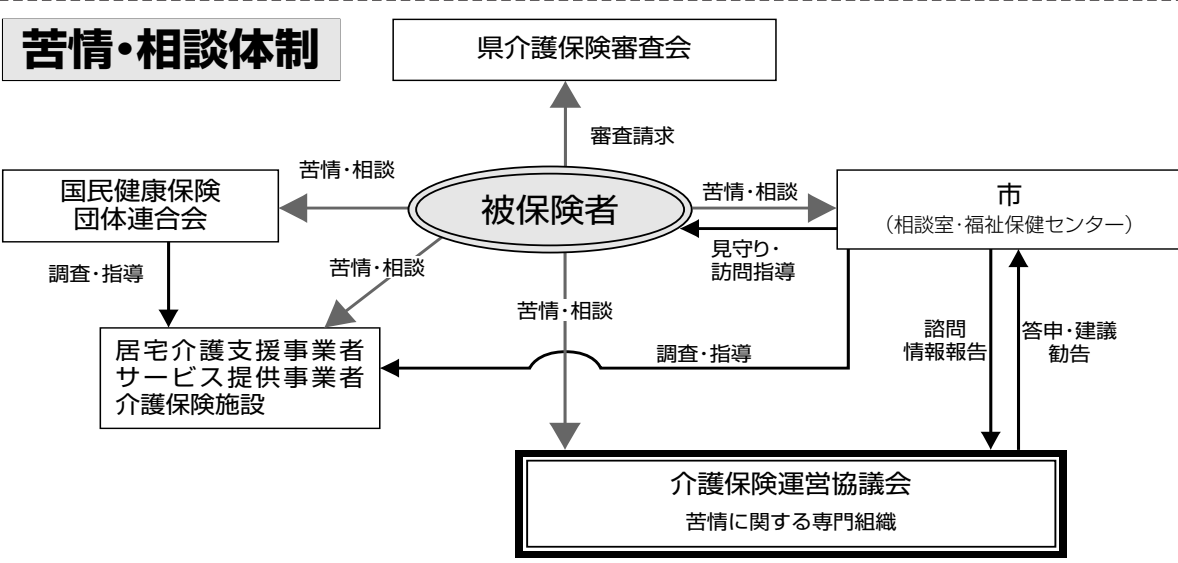
二、実施直前の情勢・現状・課題

次に、現時点での状況について新たな制度の動きを含めてみておきたい。四月の実施までにしなければならぬことがまだたくさん残っている。

国のレベルでは制度内容の最終確定、自治体レベルでは、介護保険事業計画、老人保健福祉計画の策定、介護保険条例の制定、そこへ盛り込む保険料の確定、介護保険事業の予算化、国が示した特別対策への対応と具体化、四月以降の計画・事業の実施にかかわる体制・制度の確立、さらには引き続き要介護認定、事業者指定の作業など、時間的にかなり厳しい状況での最終準備が待ち構えている。

介護保険の制度内容をめぐる動き

介護保険の制度内容についてはなお流動的な部分もあるが、昨年十一月の特別対策とそれ以降の動きを中



『金沢市老人保健福祉計画・介護保険事業計画報告書』より転載



よこやま としかず 横山 寿一 教授

【略歴】

1951年 鳥取県鳥取市生まれ
岡山大学法文学部経済学科卒業
立命館大学大学院経済学研究科単位取得退学
1987年 金沢大学経済学部赴任(社会保障論担当)

【現在】

金沢大学経済学部教授
医療・福祉問題研究会事務局長
金沢市社会福祉審議会委員
金沢市介護保険事業計画等策定委員会副委員長
『福祉マップ』編集委員会監修 他

(7面に続く)



医療・福祉関係者ら100人が参加した記念講演

(6面のつぎ)
るために一割負担が望ましい。高額介護サービス費、施設を利用する高齢者の食費負担の軽減が決まったが、それ以外に特別対策で低所得者への激変緩和策、特別養護老人ホームにすべりに入っている人への激変緩和のための五年間にわたる特別措置が行われることになっている。
利用料に関しては事業者間の競争で割引合戦が起る可能性があるが、厚生省は一割の利用料をとることを前提に金額については割引も認める発言をしている。

第三は利用料の関係であるが、国の示す条例では準則は最低限の内容しか盛り込まれていない。管理的な例であるため、そこに独自の内容をどこまで盛り込めるかが焦点になっている。
具体的には、制度の目的、基本理念、市町村の責務、実施体制、保険料・利用料の減免、オンブズマン制度などが追加項目の要求として挙がってきている。
そのほか、介護認定に関して独自の基準を定めるなどコンピュータ判定の不備を補う動きが広がっていること、認定やケアプランが間に合わないおそれも出てきたこと、療養型病床群の介護保険への切り替えが、大幅に予想を下回る可能性が出てきたことなどが重要な点である。

三、金沢市の取り組みと計画の概要

金沢市では、介護保険事業計画等策定委員会とその下に設けられたワーキングチームの両方に公募委員が加わり、市民フォーラムも四回開催するなど、これまでにないスタイルで計画策定が取り組まれてきた。計画自体も、介護保険事業計画と老人保健福祉計画を一体的なものとし、全体を貫く基本的視点を国際高齢者年の理念も踏まえて設定するなど、新しい提起を含んでいる。
また、四月以降の実施について、介護保険運営協議会を公募委員も含む形で設置し、そのなかに苦情に関する専門組織を設けて実質的にオンブズマンの機能をもたせることになった点も積極的な内容である。
計画の内容としては、在宅介護支援センターと地域サロンの核にした小地域ごとの高齢者地域ネットワークの整備をうたったこと、保健活動や地域サロ

四、今後の課題と医療・福祉関係者への期待

最後に、今後の課題と医療・福祉関係者の担うべき役割と期待について述べたい。冒頭で話したように、四月以降は制度を具体的に動かす時期である。問題があらわれ、ひとつたりとも見逃

化は来年度以降に持ち越されておられ、四月以降に命運がかかっている。
になった人の多くは最初に医療機関をたずねることから、その際に医師・医療機関が介護保険の利用へどう橋渡しがきかぬかが重要なポイントになる。また、主治医の意見書の記述、介護認定審査会における発言も認定を直接左右する重要なポイントであり、利用者の立場に立った対応を厳しく求めたい。
医療・福祉関係者の多くは、事業者としての役割も担うことになる。利用者の権利を担う存在としての自覚をもって、事業者としての在り方を積極的に問題にし、その在り方を具体的に

示しながらレベルアップにむけて主導的な役割を求められたい。最後に、住民の様々な要求に積極的に向かい合い、一緒に考え、その実現を求めたい。
また、介護をはじめ、医療、福祉の整備がその地域で安心して住み続けられるために決定的な条件であること、それらの整備が地域の経済や財政を再生している。このことを強調してまとめた。

◎介護保険に関する意見・質問などを協会までお寄せ下さい。
TEL 076(222)5373
FAX 076(231)5156

新刊 医療・福祉研究 2000年・第11号

医療・福祉問題研究会

内容	
巻頭言 保健は福祉と「合流」するのか?.....	國分 恵子
◎記念講演 地方自治と医療・福祉.....	成瀬 龍夫
◎特集/国際高齢者年 特集にあたって.....	編集委員会
国際高齢者年と介護保険.....	井上 英夫
高齢者医療に思うこと.....	大川 義弘
日本における年金保障の現状と課題.....	田中 明彦
各団体および各年代からの発言.....	
◎特集/介護保険 公的介護保険導入に向けての民間事業者としての展望.....	荒木 明憲
介護保険は特別養護老人ホームをどう変えようとしているか.....	國光 哲夫
要介護老人の介護時間調査報告.....	片野 一之
介護保険への提言.....	医療・福祉問題研究会 介護保険プロジェクトチーム
◎論文 ドミノ肝移植と臓器移植法の基本理念.....	青野 透
巨大タンカーの小さな舵.....	原 和人
◎調査報告 「もう一つの過疎化」と高齢者の医療と福祉.....	河野すみ子
◎医療・福祉の現場から 慢性関節リウマチと社会保障.....	加藤賀代子
重症心身障害児施設の現場から.....	村田 南美
「ノーマライゼーションプラン金沢」の策定.....	高柳 晃一
◎社会保障裁判 高訴訟・勝訴判決!.....	奥村 回
高訴訟第一審をふりかえって.....	高 信司
◎各地からのレポート 沖縄県 離島の高齢者福祉と医療の状況.....	高田 清恵
◎書評 浅井春夫著「社会福祉基礎構造改革でどうなる日本の福祉」.....	筒井 司郎
◎自著を語る 「雇用の弾力化と労働者派遣・職業紹介事業」の刊行によせて.....	伍賀 一道
活動日誌.....	
編集後記.....	

●編集・発行 医療・福祉問題研究会 (金沢大学経済学部社会保障論研究室)
●発行日 2000年1月20日
●体裁 B5判・113頁
●定価 1冊 1000円 (送料160円)

この本をご希望の方は協会までお申し込み下さい
TEL 076(222)5373
FAX 076(231)5156
E-mail iskw_sugino@doc-net.or.jp



おサル先生の 在宅医療入門

小川 滋彦(金沢市・内科)

『在宅医療は密室医療?!の巻』

(その2)

おサル先生は、あの一件 時間帯はギリギリのスタックが余程ショックだったのフでやりくりしているのか、何やかやと理由をつけて、ままならない。一人で一人暮らしの人の往診を断るようになってしまっ

「先生が変なことをした」とか「何かを取って行った」とか、と謂われもないことを言

「先生は、あの一件 時間帯はギリギリのスタックが余程ショックだったのフでやりくりしているのか、何やかやと理由をつけて、ままならない。一人で一人暮らしの人の往診を断るようになってしまっ

「先生が変なことをした」とか「何かを取って行った」とか、と謂われもないことを言



西山進 [嵐景] 7つのまちがい



(解答4面)

おサル先生への専門医からのアドバイス

おサル先生2月号のエピソードに登場する“Wさん”の行動に、どうも釈然としないものを感じておりましたので、金沢市で心療内科・内科・神経科を開業されている先生にご相談しましたところ、以下のようなご意見をいただきましたのでご紹介いたします。実はこのコメントは私にとっては目からウロコだったのですが、一見不条理でショッキングな体験でも、専門家の目を通して冷静に事態を把握しておく必要性を感じました。(小川滋彦)

さて、ご相談の件ですが、Wさんについては、「妄想」の原因診断と「アルコール問題」の程度の評価とをする必要があります。「妄想」は、痴呆など脳器質性のものか(見当識、記憶、知的能力などの障害を伴う)、妄想だけで他の精神症状がない妄想性障害(パラノイア)によるものかの鑑別が必要です。

アルコール精神病による作話(コルサコフ症候群: 記銘力障害、失見当識、作話)の可能性もあります。これについては、生活面の過剰な負担がある場合はその改善と、抗精神病薬(ハロペリドールやドグマチール)による薬物療法が必要です。しかし本人に病識がない場合がほとんどで、家族の介入が無いと、治療導入は難しいと思います。

「アルコール問題」は、離脱症状や病的飲酒行動があって日常生活や仕事上大きな問題を引き起こす、「アルコール依存症」があるのか、健忘や酒癖が悪い程度の「複雑酩酊」であるかです。この治療も、本人の「酒を止める」という意思がないと、治療ラインには乗りません。依存症の場合は、プログラムによる教育入院をしたり、断酒会に入って、完全に酒を止めるという行動を続ける必要があります。治療は、本人の病識、治療意欲がなく難しいと思います。身内の助けが得られない場合は、保健所に相談してはどうでしょうか・・・。(石井陽)

「失礼ですが、E先生。先生の所には飲み屋の人なにか多いと思いますが、往診はどうされているんですか?」

「自分でも(いきなり、なんて失礼な質問をしたもんだ)とおサル先生は頭を叩いたが、E先生は見かけ通り温厚な感じで応じてくれた。

「ボクは飲み屋のママさんたちはだいたい顔見知りだからね。お客が酔いつぶれたとか、ママさん自身が調子が悪いとか、呼ばれて出ていくことも多いけどね・・・」

この人なら悩みの相談に乗ってくれる!と直感したおサル先生は、先日の出来

「そうかあ。そういうこともあるだろうねえ。やっぱり絶対にスキをつくらない毅然とした態度なんだろうなあ、大事なものは。でもねえ、うちの飲み屋街でも最近多くなったのは痴呆老人の一人暮らしなんだあ」

「そういえば駅の再開発によるドーナツ化現象のため、若い人たちは郊外に出てしまい、高齢者が取り残されていることが社会問題になっている、と新聞に載っていたことを思い出した。」

「二人暮らしの老人の火の不始末が不安だから、何とかしてくれ!と近所の人々が相談を持ちかけて来るのがあってねえ」

「E先生はそんな相談にものつてるんだ」と、まさに「町の先生」として「よろず相談所」として信頼されているE先生にちよっぴり羨望を感じなかったといえは嘘になるし、またE先生の何でも話しやすい人柄を考えれば当然かなあとも思った。

「そんな患者さんへの往診は、必ずナースを連れて行ってるよお」

「でも夜はどうしてらっしゃるんですか?」

「夜は民生委員だよお。ボクの幼なじみが町の民生委員をしていてねえ。彼との民生委員にゆつくり話を

「・・・」M先生はしばらく黙って聞いていたが、おサル先生は一度、地域には民生委員と共に歩んできたM先生のゆるぎない信念と、おサル先生に是非知ってもらいたい世界があるのだという強いメッセージがあった。

「あれっ? おサル先生は自分の町の民生委員も知らないのおお? 開業する時に町の民生委員に一升瓶さげてあいさつしに行くのは、開業医のジョーシキだよおお。」おサル先生は目をシロクろさせた。

数日後、先輩のM先生にこの日のE先生とのやり取りをおサル先生は得意気に話した。「民生委員と連携をとってうまくやればいいんですよね」

「・・・」M先生はしばらく黙って聞いていたが、おサル先生は一度、地域には民生委員と共に歩んできたM先生のゆるぎない信念と、おサル先生に是非知ってもらいたい世界があるのだという強いメッセージがあった。

少しお時間をいただき、この辺り取材して掘り下げてみたいと考えています。

碁

■出題者 七段 向井富治(金沢市・内科)

故乗岡六段の通信対局に出来た形で白番です。黒は駄目詰まりの嫌な形です。

(解答は4面にあります)

PEG (経皮内視鏡的胃瘻造設術) に関するご質問をいただきました!

小川 滋彦 (金沢市・内科)

実は、PEG (経皮内視鏡的胃瘻造設術) に関するご質問は、個人的に直接いただいたものを含め、すでに何件か個別に対応してきたのですが、紙面で一度ご紹介をと思いつつ、延び延びになってしまった怠慢をお許し下さい。

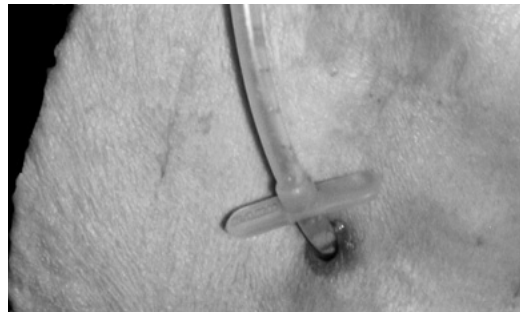
さて、ご相談いただいたケースにはいくつかの共通項があることに気が付いたので、代表的なトラブルとその対応策についてまとめてみたいと思います。

【質問】 胃瘻のまわりが発赤してジクジクしており、分泌物が多いのですが?

【回答】 まず、(1) 外部バンパーがちゃんと十分に緩めてあって、しかも押し込むようにしているかどうか。以前、相談を受けて見に行った施設では、外部バンパーがきつく締めたままになっており、緩めたとたんに膿汁が胃瘻部からほとばしり出たことがありました。瘻孔部感染の原因のほとんどはバンパーの締め付けによる圧迫・虚血です。

次に(2) 胃瘻カテーテルが同じ方にばかり向いて倒れているため、瘻孔の一部分にばかり張力がかかり、圧迫・虚血が生じていないかどうか。胃瘻カテーテルは日に何回か頭側・尾側・・・と向きを変えておく必要があります。

続いて(3) スキンケアの問題。瘻孔からの分泌物はこまめに拭き取る。ただそれだけ!“ぬれティッシュ”でも蒸しタオルでも何でもよい。決してゲンタシン軟膏を塗ったり、イソジン塗りを重ねたりしてはなりません(イソジンは使っても良いが必ず流水で洗っておくこと)。ガーゼで後生大事に覆っておくのが一番悪い。胃瘻はおへそと同じ。お風呂に入って石鹸で洗うのが一番良い。「お湯が入るのがコワ

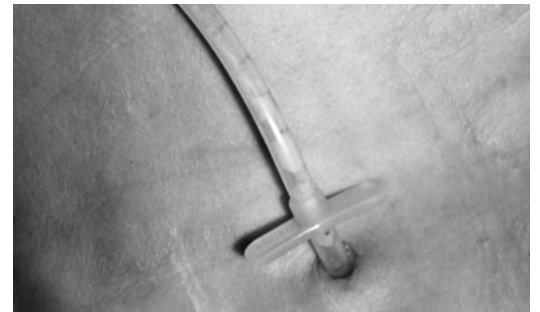


【写真1】

イ」と言っておへそにビニールでフタをしてお風呂に入る人はいないですよ。胃瘻は鼻の穴と同じ。ハナミズが出れば、それを拭き取るだけのこと。ハナミズが汚いからといって、鼻の穴をガーゼで覆ったり、ゲンタシン軟膏を塗りたくる人はいないですよ。

もちろん、今述べたことはすべて瘻孔完成期(慢性期)、すなわち胃瘻造設後2週間を経過からの注意事項です。

『写真1』は、金沢市内の内科の先生が訪問診療している胃瘻の患者さんで、【質問】のようなご相談を受け、見に行つてほしいとご依頼を受けました。胃瘻周囲の発赤も強いジクジ



【写真2】

クしています。今ほど申し上げたことを介護者である奥さんにご指導しましたところ、1週間後には『写真2』のように赤味も取れ、乾いた感じになりました。これぞスキンケアの極意でございます。

そして、以上を試みてもうまくいかない症例は、かなりの上級コース(?)です。その場合のテキストとして、一昨年、保険医協会でPEGの講師にお招きした北里大学東病院ETナース・松原康美先生が監修された、カラー図譜『PEG術後のスキンケアとスキントラブル対処法』がおすすめです(メディコン社から提供を受けることができます)。

石川県言語聴覚士会設立記念講演会

後悔しない医療を受けるために ——バイオエシックスのすすめ——

講師 辻本 好子氏 (ささえあい医療人権センターCOML代表)

と き 平成12年4月9日(日) 午後1時30分~3時30分

と ころ 石川県立中央病院健康教育館大研修室

入場無料 手話通訳がつきます

医療職として、患者さんに接するときの心構えやルールを私たちはしっかりと学び身につけてきたでしょうか。医療に携わるすべての人に求められる資質を、バイオエシックスの視点を交えわかりやすく解説していただきます。

◆「バイオエシックス」とは…医療のみならずビオス(生命、生物、生活)のすべてにかかわりを持つ、人間の尊厳の尊重に根ざした人権運動であり、公共政策づくりである。(木村利人『いのちを考える』より)

ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

医療を消費者の目でとらえようと、1990年9月に活動をスタートした市民グループ。患者一人ひとりが「いのちの主人公」「からだの責任者」としての自覚を持ち、主体的に医療に参加していこうと呼びかけている。患者と医療者が対話を重ねながら、互いに気づき合い、歩み寄り、より良いコミュニケーションづくりを目指している。毎月のニュースレター発行、電話・手紙相談、フォーラムやミニセミナー「患者塾」の開催、模擬患者活動、病院探検隊など、さまざまな活動を展開中。

石川県言語聴覚士会

石川県に在住または在職する「言語聴覚士」の職能団体。言語聴覚士は、言語や聴覚の障害によってコミュニケーションに不利を生じた方々に対し、評価・訓練・助言を行う専門職で、平成11年に国家資格者が誕生した。石川県内には現在、病院を主に31施設47名の言語聴覚士がいるが、必要な方すべてにサービスが行き届いていないのが現状。石川県言語聴覚士会では、言語聴覚サービスの普及と質の向上を目指し、ニュースレター発行、講演会開催、言語聴覚に関するボランティア活動などを展開する予定。

●問い合わせ

石川県言語聴覚士会設立準備会事務局 〒923-8551 小松市加賀八幡温泉病院言語療法科 TEL.0761-47-1212(代) FAX.0761-47-1941

福祉を支える人たち

その8

みみネットいしかわ

すべての映画に「字幕」を

そして『チンパオ』にも字幕が付いて

みみネットいしかわ主宰者 佐原 郁代

●連絡先●

金沢市円光寺1丁目17番6号
TEL/FAX 076(244)1369

「聴覚障害」への理解と支援を求めて

みなさん、こんにちは。私の子育てはやはり大変なことの連続でした。幼い時期も聴力低下したこともあり、私には「聴覚障害」というハンディを持って生まれてきました。「どうしよう、困ったなあ」と泣いてばかりの日々。でもある日、この「ことば」と「心」を育てよう、とがんばってきたように思います。

困難を苦慮せずにはいられていません。それは、「聴覚障害」＝「情報障害」だからです。小学校に入学するということは小さな社会に子ども自身が一人で身を置くわけで、これからは「社会」が子どもを育てていくのだと私は考えています。そして、周りの人たちのあたたかいまなざしが子どもたちすべての子どもの健やかな成長を助けることはま

感じたい！ 強く思った私は中田監督に「字幕をつけてほしい」と願いました。娘たちには字幕がないと映画が分からないからです。こうしてピピには字幕が付いて、石川県の多くの皆さんの理解と応援のもと、二年間で二十五カ所、すべての上映を字幕付きで、あいつには手話通訳、という全国でも初めての画期的な上映活動が始まりました。

私は一般の方々から「字幕」をどう捉えて下さるのか、とても心配でした。でも皆さんOKだった！「今まで「字幕」なんてちっとも気づかなかった。みんなと一緒に映画を楽しめる、このことに意義がある。良かったよ！」と言って下さったのです。

「字幕」は聞こえないことを理解する疑似体験だったのです。共に一喜一憂しながら、障害のある者もない者も共に生き、喜びも悲しみも分かち合えることを体験させてくれたのです。ピピの字幕付上映は「気づきと受容」を多くの人々に提案し、「心のバリアフリー」を私たちの心に届けて

くれたのでした。すべての映像に「字幕」がほしいです。子どもたちは精一杯生きています。

「字幕」で子どもたちの成長を応援してやってほしいのです。

でも、両国の共通の思いは「子どもを戦場に送り込まない」ということ。世界中の誰もが願うこの思いを真ん中に置いて、今、大人のがんばり時です。歴史を学び、反省し、次の第一歩を踏み出すのは私たち大人の役割です。私も娘たちも、皆さんと一緒に観るのをとても楽しみにしています。「チンパオ」の字幕付上映会、ぜひ、応援して下さい。

佐原さんの発行する通信誌『みみネットいしかわ』



中田新一監督と佐原さん親子

私がアニメ映画「pipipi」とべないホタル」に出会ったのは今から四年前、こんな思いの時でした。ピピは生まれつき羽根が縮れて飛べないホタルでした。私は、ピピがクラスの中でただ一人補聴器をつけてがんばっている娘たち、多くの聴覚障害の子もたちにオーバラップして見えました。

「飛べなくても僕はホタルなんだ」。仲間たちもピピの悲しみを分け合い、一緒に美しき環境を求め旅に出るといふ勇気あふ



中田監督の最新作「チンパオ」のパンフ

「チンパオ」は、日中平和友好条約締結二十周年記念として製作されました。二十一世紀に向けて、私たち大人が子どもたちにどんなバトンを手渡してやるのかを模索した作品ではないでしょうか。

中田監督はすごい仕事をされたと思います。戦争に対する歴史認識がまったく違う日本と中国で、お互いを重ねながらファイティン・ファイティンで創り上げた台

「字幕」は聞こえないことを理解する疑似体験だったのです。共に一喜一憂しながら、障害のある者もない者も共に生き、喜びも悲しみも分かち合えることを体験させてくれたのです。ピピの字幕付上映は「気づきと受容」を多くの人々に提案し、「心のバリアフリー」を私たちの心に届けて

くれたのでした。すべての映像に「字幕」がほしいです。子どもたちは精一杯生きています。

「字幕」で子どもたちの成長を応援してやってほしいのです。

でも、両国の共通の思いは「子どもを戦場に送り込まない」ということ。世界中の誰もが願うこの思いを真ん中に置いて、今、大人のがんばり時です。歴史を学び、反省し、次の第一歩を踏み出すのは私たち大人の役割です。私も娘たちも、皆さんと一緒に観るのをとても楽しみにしています。「チンパオ」の字幕付上映会、ぜひ、応援して下さい。

佐原さんの発行する通信誌『みみネットいしかわ』

ピピの感動を子どもたちにも

「字幕」は聞こえないことを理解する疑似体験だったのです。共に一喜一憂しながら、障害のある者もない者も共に生き、喜びも悲しみも分かち合えることを体験させてくれたのです。ピピの字幕付上映は「気づきと受容」を多くの人々に提案し、「心のバリアフリー」を私たちの心に届けて

くれたのでした。すべての映像に「字幕」がほしいです。子どもたちは精一杯生きています。

「字幕」で子どもたちの成長を応援してやってほしいのです。

でも、両国の共通の思いは「子どもを戦場に送り込まない」ということ。世界中の誰もが願うこの思いを真ん中に置いて、今、大人のがんばり時です。歴史を学び、反省し、次の第一歩を踏み出すのは私たち大人の役割です。私も娘たちも、皆さんと一緒に観るのをとても楽しみにしています。「チンパオ」の字幕付上映会、ぜひ、応援して下さい。

佐原さんの発行する通信誌『みみネットいしかわ』

「字幕」で子どもたちの成長を応援してやってほしいのです。

でも、両国の共通の思いは「子どもを戦場に送り込まない」ということ。世界中の誰もが願うこの思いを真ん中に置いて、今、大人のがんばり時です。歴史を学び、反省し、次の第一歩を踏み出すのは私たち大人の役割です。私も娘たちも、皆さんと一緒に観るのをとても楽しみにしています。「チンパオ」の字幕付上映会、ぜひ、応援して下さい。

佐原さんの発行する通信誌『みみネットいしかわ』

チンパオ

チンパオ前売割引券

●ご希望の方は協会まで●
TEL (076) 222-5373 FAX (076) 231-5156
E-mail: iskw.sugino@doc-net.or.jp
※お申込みの方にはチケットと郵便振替用紙をお送りします

4月22日(土) 野々市町文化会館(フォルテ)
①14:00~15:30 ②16:00~17:30
③18:00~19:30
※上映はすべて字幕付きです
◆前売協力券◆(石川県上映共通観賞券)
大人 1,200円(中学生以上~一般 当日券1,500円の処)
小人 800円(4歳以上~小学生 当日券1,100円の処)

みみネット いしかわ 第21号
1999.12.24

今日一番うれしい「やった！」
(日記・11月11日) 佐原実歌

今日の4限目、体育でサッカーをしました。メンバーは主将が内記さん、山田さん、村本さん、東さん、木下さん、長谷川さん、私でした。敵はゴールキーパーを決めるはずだったけれど、誰も手をあげなくて、内記さんがやると言ったけれど、そして誰か誰か攻めようかと思いついて、手をあげました。内記さんが「大丈夫？」と聞いてくれたので、「大丈夫！」と答えました。……けれど、ルールを知らない私は……

やったもので、村本さんに聞き、できるだけバレーの条件&キックではおかせようになりました。そして、石田さんのキックボールがとんで、私は思いきりけりしました。

「ポン！」
力強くぶい音、いたい足。
頭で、やった！と思えました。
そして、なんとかわり、2勝0敗で勝ちました。
うれしかったです。

◆「ボールが飛んできたら逃げるから」と言った実歌に「それでいいよ」と友達はずっとくれたそう。耳のことを心配してくれやさいね。

紹介 補脚

みなさん、いかがお過ごしですか？
21世紀に向けて「人の意識が変わりつつある」のを身近に感じるこの頃です。「バリアフリーの社会」の実現にいま力を注ぐのは、私たちです。一歩でも近づけて子どもたちに手渡したいのです。

「みみネットいしかわ」21号は、実歌の補聴器選びの報告と補聴器の情報等についてお知らせしたいと思います。
また、昨年12月に関西学院大学主催の秋季入権問題講演会でお話させていただいた講演原稿を読みたいと思っております。

この秋は、読売新聞の「ひとまよう」で活動を紹介して下さったり、11月27日にはNHKの「ウィークエンド中部」でも紹介していただきました。(取材を受けるにあたり、家の月の付けが大変でした。映像は幸いです。何をしゃべったか心配にはなるし……でも、映像は多くの人に思いを届けていたことは一番のメディアです。紹介してくださって感謝しています。また、番組について励ましのFAX やお電話を下さった方、とてもうれしかったです。ありがとうございます。

「みみネットいしかわ」345号 クレジット「アラトマ」社から、従来から販売している「ジャポン」の販売が開始も新しい物ば用紙を販売している物ば用紙の提供も、御注意。

御予約は
〒150-0044
渋谷区円光寺2-5-1
TEL: 03-3-3-3-3-3
FAX: 03-3-3-3-3-3
URL: www.tetevision.or.jp

※、テレビ放送で厚生省による日常生活用内巻紙に指定されては、各福祉窓口にて



金沢一の鍋と評判の「太郎」で開かれた冬の食べ歩き会

冬の食べ歩き会

太郎

(金沢市主計町) 076-231-5152

「食べ歩き会」初参加の記

鍋の暖かさが心に染みて

紺谷 信夫 (松任市・内科)

小雪舞う二月二十九日の夜、浅ノ川河畔の料亭「太郎」へと向かう。春近しいえども、陽が落ちるとまだ寒気厳しく、コート...

六月までは、ほぼ同じ中身にて同一料金の一種類のみ。暑い七月、八月は五千円からの会席料理となる。鍋を食べ始めてすぐに、高松会長にお酌に来て頂き恐縮する。皆さん腰が軽く、席を移動しながらワイワイとやる。私も栗野先生、高松先生ご夫妻、藤田先生の席へ移り、勧められるままに大酒を飲む。舟木先生ご夫妻、大平先生ご夫妻の席へ回ったころは、すっかりでき上がってしまった。自分の席へと戻り、名物の餅と雑炊をやっと食べる。あつという間にお開き



全州は朝鮮王朝李王家のこの州を全うする。その感じを耳に感じ、山麓に耳をたたく。雄馬がらどくし。

全州は朝鮮王朝李王家のこの州を全うする。その感じを耳に感じ、山麓に耳をたたく。雄馬がらどくし。その後、私は全州の先生方の招待に依り、数年前の五月初旬に初めて全州を訪れた。全州は全州ピビンバに代表される如くに韓国一の食の都として有名であり、韓国一の穀倉地帯・湖南平野の中心にある後百濟時代の都でもある。私の医院に研修に来られた先生方を現地に訪問すると、人を集めて歓迎会を催して下さる。会食が賑やかになるころ、必がイルボンの実態としてイルボン(日本)・パイルボン(訪問)ポゴ(報告)会になる。全州でも金務信女史は情熱的にイルボン滞りの体験を語り始めた。イルボネソヌン(日本では)と始まるが、小松空港に到着し松任に二週間滞りし、小松空港から離陸するまでの出来事。わが医院では毎年事の前泊である。イルボンの海外旅行前にその国にシララムは勤勉だとか、親切だとか、患者さんは静かで秩序正しいとか、もたくさんの本を集めた。イルボンはどこへ行ってた。その中で、マレイ人も美しいとか、院内は清潔で整理が行き届いているとか多少は褒めて頂けるとか多少は褒めて頂けるとか。しかしその後は少しずつ怪しげなポゴとなっていく。イルボンチュブヌン(主婦は)カサルル(家事を)ハシアナヨ(食事)ジュンビ(準備)シガナル(時間を)コリその実際を報告したい。

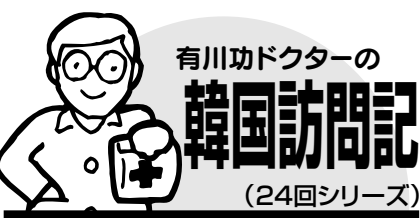


昨年100万人が花見におとずれた伊豆桜まつり (1999年2月22日撮影)

温暖な伊豆にはワニ園、サボテン園など南国ならではの場所がたくさんあります。その中に伊豆半島南端の下田近辺に河津町があります。ここからは太平洋の黒潮と伊豆七島が望まれ、今でも大相撲で年一回くらいテレビとか新聞で見られる決まり手のひとつ「河津掛け」の考案者河津三郎(力士)が合祀された河津八幡神社には、朝夕の鍛錬に使ったという三百キログラムの力石があります。また、伊豆急行電鉄河津駅前には河津三郎の子であり、仇討ちで知られた曾我兄弟の像があり有名な所です。そこに数年前からヒガ

韓国事情見て歩き—第22話—

純粋韓国人のイルボン・パンムン・ポゴ



有川功ドクターの韓国訪問記 (24回シリーズ)

続けた。彼女は英語も日シアナヨ(かけない)と本語も話さない伝統的で愛国的な純粋培養の韓国女性であった。その後、私は全州の先生方の招待に依り、数年前の五月初旬に初めて全州を訪れた。全州は全州ピビンバに代表される如くに韓国一の食の都として有名であり、韓国一の穀倉地帯・湖南平野の中心にある後百濟時代の都でもある。私の医院に研修に来られた先生方を現地に訪問すると、人を集めて歓迎会を催して下さる。会食が賑やかになるころ、必がイルボンの実態としてイルボン(日本)・パイルボン(訪問)ポゴ(報告)会になる。全州でも金務信女史は情熱的にイルボン滞りの体験を語り始めた。イルボネソヌン(日本では)と始まるが、小松空港に到着し松任に二週間滞りし、小松空港から離陸するまでの出来事。わが医院では毎年事の前泊である。イルボンの海外旅行前にその国にシララムは勤勉だとか、親切だとか、患者さんは静かで秩序正しいとか、もたくさんの本を集めた。イルボンはどこへ行ってた。その中で、マレイ人も美しいとか、院内は清潔で整理が行き届いているとか多少は褒めて頂けるとか多少は褒めて頂けるとか。しかしその後は少しずつ怪しげなポゴとなっていく。イルボンチュブヌン(主婦は)カサルル(家事を)ハシアナヨ(食事)ジュンビ(準備)シガナル(時間を)コリその実際を報告したい。

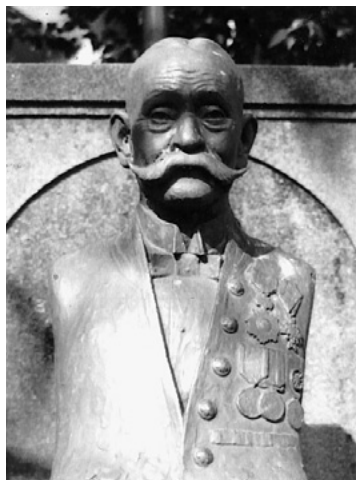
石川県医事文化史跡めぐり

〈58〉

大井玄洞

生薬学名付けの親(金沢出身)

多留 淳文 (日本医学史学会評議員)



大井玄洞 胸像
東京都文京区関口2丁目
江戸川橋際、江戸川公園入口

生薬学とは、天然の薬物を考究する学問である。その生薬学という語を創出したのが、わが石川県出身の大井玄洞であることは分かっていたが、偉大なマルチ人間だとは知らなかった。昨年暮に吉田国夫氏が「陸軍薬剤官大井玄洞」(石川元年(一八六〇)藩校明

倫堂に入学。慶応二年(一八六六)町医師大井玄洞の養子となり、襲名を兼務した。同年に赴任したドイツ人教師ローレンツの講義を通訳したのが大井玄洞であった。明治十八年、金沢を離れ、陸軍薬剤官に就任、陸軍軍医学校教官を兼ねた。明治二十三年(一九〇〇)三十六歳で退官し、小石川区大塚窪町三四七(現 文京区大塚三丁目)に住み、衛生材料の加工販売の精製舎を営んだ。明治三十八年、小石川区「生薬学」を出版した。これが日本における生薬学の始まりであり、生薬学の名称の起りである。同年、金沢医学校の教諭

も全員のコーヒー代を支払った。実は、先輩たちによく奢ってもらっていたので、いつも脅迫的に借り返すチャンスがわかっていたのである。しかし、初対面の中島先生は驚いて大分とまどつていた話によると、中島先生は若いころ一般の職業を転々としていたが、一念発起して医専へ入学して医師になつたという。開業したけれど、身についた商売氣質のため今も不動産屋を兼業しているとのことであつた。

一杯のコーヒーから

開業秘話(上)

大石 博司 (金沢市・産婦人科)

一九六七年(昭和四十二年)の秋、能美郡根上総合病院の産婦人科に勤務中の私は、ゴルフツアーで名古屋近郊へ行つた。当時はまだゴルフは一般的ではなく、参加者は十人に満たない数で、私以外はすべて県内の開業医であつた。その中に中島某という六十前後の医師がいた。細目の筋肉質、背はやや高く少し猫背。熱心に練習していたが、ドライバーは百八十ヤードくらいしか飛ばなかつた。他の開業医たちともあまり話し合わず、ポツンと窓の外をみている場合がしばしばあつた。

その夜、中島先生と同室であつた。私は問われるままに自分の現状を話した。大阪で生まれ、戦災で一家無一文で門前へ疎開。両親と姉が親戚の田畑を借りて農業をして学資を援助してくれた。大学時代は週に六夜は、中高生の家庭教師で下宿代全額を得ていたこと。卒業後はすぐに結婚したが、二人とも親の経済援助は、一銭も受けない方針で自立した。私は国立病院の婦人科で無給研修医、女房は同じ病院の看護婦で、その給料により二年を過ぎ、その後の二年は富山や小松の婦人科病院での当直アルバイトで生活してきたが、急性腎炎にかかり、三カ月の内科入院を強いられた。収入がなくなつたので、妻子の生活費は親戚からの十数万円の借金でまかなつた。退院後、固定収入を求めて根上総合病院へ就職した。それでも続けてきた解剖学の研究が最近まとまつたので開業したい。

六十過ぎの人から三十過ぎは子どもみたいなものであつたらう。中島先生はだまされて聞いていた。年が明けた。二月のある雪の日、金沢の中島先生から自宅へ来ないかと誘われた。中島邸は、西金沢からの通りと八号線との交差点の角にあつた。黄土色の外装のコンクリート二階建てであつた。子どもたちは独立して、奥さんと二人住まいであつた。「大石先生、仕事はなんでも立地条件が大切ですか。金沢のどこで開業するつもりですか」

「でも、そんな良いところに土地が空いているわけがないでしょう。売りに出ますか」
「とんでもない。事業をするときに不動産が売りに出てからでは遅いのです。商売に適した土地を見つけて買に行くのです」
「誰かが住んでいるところは売らないでしょう」
「住んでいるとは限りません。倉庫とか駐車場とか買える場所はいくらでもあります」
その次の日曜日、中島先生と私はみぞれまじりの雪の中を長靴に傘といういでたちで金沢駅周辺や武蔵町のあたりを、土地を探して歩き回つた。

「先生、小杉さんは良い人みたいですね。あの場所です。坪十五万円は安いですよ。計三千万円なら親戚から借りられると思います」
「大石先生、取り引きの金額が大きくなると、相手の人柄は関係なくなります。どんな良い人も大金の利害があると、思いやりもやさしさも吹っ飛んでしまいます。売値、買値を決めるのは需給関係です。買う方はその土地がどれだけ利益を生むかを考えて最低の値段を提示し、売る方はできるだけ高く売ろうとするものです。黙っていても安くしてくれらる・・・そんな甘い考えではだめです。坪十万、全額二千万円まで値切りましょう」
相手は二千万円、こちらは二千万円。折り合いがつかず一週間が過ぎた。小杉建材では、自動車の出入りの難しいその土地を売り、東金沢駅の周辺で大きな土地を買うことにしたらしい。ついに二千万五百万円で新聞広告を出すという。買い手がなかつたら二千万円で売ってくれそうである。
(五百万円のことであの土地が手にはいらなかつたら・・・)
私は、当時の月給四万円の百二十五倍、すなわち十年分の月給の金を一晩で失う可能性のある現実に動揺して眠れなかつた。
(次号につづく)